

ふるさとの風

行ってみよう！ 苳安湿原



モンデウススキー場をバックに広がる湿原



皆さんは、モンデウススキー場のある苳安峠に、湿原があるのをご存じでしょうか。高山市指定天然記念物『苳安湿原植物群落自生地』です。

湿原というと、♪夏がくーれば思い出す♪ミズバショウで知られる尾瀬ヶ原や、北海道にある釧路湿原・サロベツ湿原などが有名ですが、苳安湿原のすごいところは、車で行ける身近なところにありながら湿原植物が観察できるということです。

まず湿原についてちょっと説明しますと・・・、植物が生えるのに水分は必要ですが、湧き水の近くなど水が多すぎる場所では普通の植物は生えることができず、水分が多い環境に強い植物だけが生えるようになります。ちょうど苳安湿原は、スキー場（昔は森でしたが）の方から染み出す湧き水のために、湿ったところを好む植物だけが生えるようになったのです。

苳安湿原を代表する植物はミズゴケで、ほぼ全面を覆っています。そこに、春から秋にかけてヒダキセル



アザミ、ミミカキグサ、シラヒゲソウ、トキソウ、サワラン、エゾリンドウなど、様々な湿原植物が花を咲かせます。

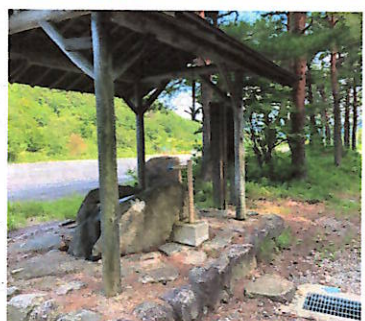
以前は、自然散策用の木道があったのですが、老朽化のため撤去されて今は無いため、少し観察はしにくくなっていますが、周りをぐるりと歩くだけでもいろんな湿原植物に出会えるはずです。

苳安湿原を歩くときにあると良いのは、双眼鏡。離れたところにある小さな花も、双眼鏡があれば見つけられます。また、最近あまり見かけなくなりましたが、日本一小さなトンボ「ハッチョウトンボ」も見つけられるかも。

苳安湿原の周りには、分水嶺の水路や石碑、位山の伏流水が飲める水場などもありこれからはゲレンデのススキが輝くようになります。

3密を避けて気軽に散策しながら、ふるさとのちょっと珍しい自然に親しんでみませんか。

※自然散策マップがあります。モンデウスのセンターハウスで聞いてみよう。

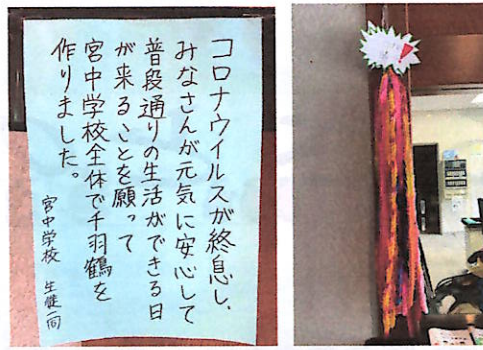


コロナに勝つ!!

宮中学校生徒が千羽鶴贈呈

7月30日、宮中学校生徒の皆さんより「新型コロナウイルスが早く終息し、一之宮町の皆様が安心して楽しく暮らせるよう」祈願し、心を込めて折られた千羽鶴が一之宮支所と一之宮公民館・飛騨位山文化交流館へ贈呈されました。

千羽鶴は支所玄関入口、公民館窓口付近、交流館ロビーに飾らせていただい



おります。お立ち寄りの際には、ぜひご覧ください。



生徒の思いが天に届きますように!

夏の環境整備作業行われる

コロナ禍、暑い中での作業でした!!

8月2日、全市一斉環境整備作業が行われました。一之宮町でも、各地区総出で草刈や用水の土砂上げ等が行われました。

農業用水である一幹の取り入れ口では、土砂上げが行われました。二幹では水量も多く、7月の豪雨により土砂が相当埋まっており、機械を使わないと作業でき

ないような状況でした。これらの用水は、一之宮町下流までの農業用水として大切なものですが、山の排水路の意味もあるようです。そのためには、豪雨の時には水門を閉めておく必要があります。それを農業改良組合が、また、近くの住人が守ってみえるそうです。7月の豪雨ではその人達の支えもあって、被害が抑えられたと思います。



二幹取り入れ口の草刈りの様子

長寿会も奉仕作業

暑さに注意し手際よく作業

6日には一之宮長寿会(町川克己会長)が、臥龍公園・モンデウス・一ノ宮駅などの施設や県道沿いの草刈や草取りを行いました。

暑い中でしたが、さすが長年培ってきた技で、手際よく作業が終わりました。見事に、きれいに作業がなされ、整備さ

れた環境の中でお盆を迎えることができました。

今年は、会員が一旦臥龍公園に集まりその後、各地区で作業がなされました。ただ、段地区の会員は道路が通行止めになっているため臥龍公園に集まることはできませんでした。スキー場周辺の作業を行いました。

コロナ禍、また暑い中、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。



作業前に集めた長寿会員

自主防災訓練を実施

自分たちの町は自分たちで守ろう

8月2日、一之宮上下班主催で自主防災訓練を実施しました。今年は南大野消防署幅上さんをお招きして指導していただきました。地下貯水槽からのポンプでの水の汲み上げ、ホースさばき、放水、放

水など、普段は行ったことがない体験で非常時に備えた訓練が出来、充実した日となりました。

各班でいざという時に近くの方がすぐに動き出せる自主防災体制ができると頼もしいです。

例年行われている防災訓練は、9月6日(日)、位山町内会が中心となり消防団も第3分団が出動して行われます。



放水訓練の様子

宮っ子応援サポート第2弾

宮小中の児童生徒が学習会に参加

学校が夏休み中の8月8日(土)から10日(月)の午前中、一之宮公民館にて宮小中学校の児童生徒を対象にした学習会が開かれました。

この学習会は、コロナ禍で困っている宮っ子や学校を応援する目的で「一之宮学園運営協議会(宮っ子育お会)」が始めた「宮っ子応援サポーター」活動の第2弾として行われました。

3日間で宮小児童17名と宮中生徒9名延べ26名が参加し、一之宮町内在住の元

教員7名と宮中卒業の大学生2名の講師の皆様が、個人指導に近い状態で分からない箇所などを教えられました。参加者には、「丁寧に教えてもらえたと、みんなと教え合えてよかった。また参加したい。」との意見もありました。同協議会では、今後ともこのような地域と学校の協働活動を進めていくとのこと。

また、9日(日)昼には、「みんなの食堂さくら」のスタッフの皆様との協力で、参加者・講師の皆様と一緒にカレーとデザートを美味しくいただくことができ感謝申し上げます。



一生懸命勉強する児童・生徒たち

いいね!



一之宮

思わずいいね! したくなる出来事を紹介します

宮小学校・総合学習の成果

一之宮町の自慢は何だろう?

「一之宮学園運営協議会」コーディネーター同行記

宮小学校では総合の学習の一環で、郷土を知る授業が行われています。今回3年生の「一之宮の自慢を調べよう」の授業では、児童たちはテーマを「宮の名人・名物」と自分たちで話し合って決め、定番の「宮笠」の他に町内にあるお店の「カラアゲ」と別のお店の「そば」の3つを選びました。このユニークな選定に担任の先生は少し戸惑ったそうですが、校長の粋な計らいで実施することになりました。

7月27日(月)雨の中、「宮笠」を作られている問坂義一さんの材料工房へ、3年生23名が担任と教頭先生の引率で訪問しました。訪問した工房は、イチイ・ヒノキ・竹の原材料を宮笠の構成する部材に加工する場所で、使い込まれた大きな機械に長い歴史を感じました。問坂さんから笠の材料の説明を聞いた後、笠づくりは家族総出で行い、1歳ころからの手伝いで大変だったとの話では、児童たちはびっくりしたり感心したりしていました。

次に笠の編み方の実演をしていただいた時には、その速さにさらにみんなびっくりでした。



問坂さんはいつもご自宅で宮笠の製作をされていますが、お忙しい中、児童のために工房でのご説明や実演場所を用意していただき、感謝申し上げます。

今回のような「実際に見て聞いて肌で感じる生の体験」は、バーチャルな体験からは得られないと児童たちは感じ取っているようでした。また授業で習うことと関連付けることができること、みんなが主体的に考え刺激合い学びを深めることで、教育的効果も大きいとのことでした。

今回は、訪問先の3か所との日程などの調整を任せられましたので同行させていただきましたが、残り2か所のお店では、どのような化学反応を児童たちが起こすか楽しみです。乞うご期待です。

ぼくのなまえ☆
わたしのなまえ

うきょう
優京くん

平成29年8月15日生まれ

お父さん: 溝端 龍治さん
お母さん: 溝端 華子さん 《南》

優しく男らしい子になりますように、という願いを込めて優京という名前をつけました。

どこか心配なくらい優しく穏やか~な子に育ちました。しかし3歳になった優京はすっかりやんちゃに! 6月から保育園も行き始め、すっかりお兄ちゃんらしくなりました。

お姉ちゃんと、弟と喧嘩の絶えない毎日を過ごしています。でもすぐに3人ケラケラと笑いあう様子が毎日癒しをもらっています。

これからも姉弟仲良く成長して行ってほしいです!



図書館だより



まだまだ暑い日が続きますが、夕日の色や吹く風、虫の音に秋の気配を感じるこの頃ですね。

読書に最適な季節がやってきました。ぜひ図書館をご利用ください。

<今月の特集>

★「小説でいろどる芸術の秋」

芸術を題材とした小説を集めました。

★「絵本: 大すき! みんなの図書館」

読書の秋です。図書館が大好きな動物たちのおはなし、船の中にある図書館のおはなしなど、図書館をテーマにした絵本を紹介します。

●他の分館と200冊の資料交換を行いました。

交換した資料は「配送資料コーナー」にてごらんいただけます。

●今月のおはなし会は9月19日(土)午前10時30分~。

1歳6か月児向けブックスタートおはなし会です。

ブックスタート絵本の引き換えも行います。絵本の引き換えには高山市から配布された【引換券】と【母子手帳】が必要です。おはなし会はどなたでも参加できます。



